



2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月14日
東

上場会社名 株式会社レオクラン 上場取引所
 コード番号 7681 URL <https://www.leoclan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 杉田 昭吾
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 筒井 照己 (TEL) 06-6387-1554
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の連結業績(2022年10月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	16,674	△33.8	337	△61.9	328	△65.1	195	△68.8
2022年9月期第3四半期	25,195	17.3	886	12.7	940	17.5	625	15.9

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 219百万円(△66.2%) 2022年9月期第3四半期 648百万円(13.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	99.55	99.09
2022年9月期第3四半期	319.27	317.76

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	13,268	5,648	41.4
2022年9月期	13,468	5,537	40.0

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 5,492百万円 2022年9月期 5,384百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2023年9月期	—	0.00	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	△16.0	550	△15.5	550	△22.5	360	△17.6	183.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期3Q	1,960,800株	2022年9月期	1,960,800株
② 期末自己株式数	2023年9月期3Q	79株	2022年9月期	79株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期3Q	1,960,721株	2022年9月期3Q	1,960,721株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」という。）の感染症法上の位置づけが5類へ移行するなど、社会経済活動が一段と正常化に向かう中で、緩やかな持ち直しの動きが見られました。一方で、エネルギーや商品・サービスの価格上昇など物価上昇圧力の裾野は拡大し、さらには各国の金融引き締め政策や長期化するウクライナ情勢など、多様な景気下振れリスクが存在しており、先行きは不透明な状況にあります。

当社グループが属する医療業界は、感染症の影響が縮小するに伴い、人手不足や受診抑制に改善がみられるものの、アフターコロナを見据えた医療提供体制の再構築に向けて、医療機関の統廃合、機能分化、デジタル化の推進といった様々な課題に直面しております。

このような状況の中、当社グループの主要事業であるメディカルトータルソリューション事業におきましては、医療機関の課題を解決すべく、これまでに培ってきた経験と情報網を活かし、医療機関の新築・移転、再編等に伴う医療機器の一括販売、大型医療機器を中心とした医療機器及び医療情報システム（電子カルテ等）の販売を日本全国で手掛けてまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は16,674,201千円（前年同期比33.8%減）となりました。営業利益は337,409千円（同61.9%減）、経常利益は328,335千円（同65.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は195,182千円（同68.8%減）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、以下のとおりです。

① メディカルトータルソリューション事業

メディカルトータルソリューション事業におきましては、感染症再拡大の懸念は残るものの、足元の受注環境に大きな変化はなく、取引先及び当社グループ従業員の安全を確保しながら積極的な営業活動を展開しております。前第3四半期連結累計期間は戦略的に受注した案件を含め、20億円以上の案件を複数計上しておりました。これに対し、当第3四半期連結累計期間は、営業活動は変わらず旺盛で、概ね計画通りに推移したものの、20億円以上の案件の計上はなく、前年同期比では大幅な減収となりました。一方で、対面営業が増加したこともあり、販売費及び一般管理費については前年と同水準で推移したため、減収に起因する売上総利益の減少と合わせて、営業利益は前年同期に比べて減少いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は15,828,654千円（前年同期比35.1%減）、営業利益は277,208千円（同66.3%減）となりました。

② 遠隔画像診断サービス事業

遠隔画像診断サービス事業におきましては、質を重視した遠隔画像診断の提供、放射線診断専門医の安定的確保と専門性の高いノウハウを武器に、導入医療機関及び取扱件数の増加を図り、安定した営業基盤を維持しております。売上高は前年同期比で37,108千円の増収となり堅調に推移した一方で、専門医確保のためのコスト増等もあり、営業利益は前年同期比で7,071千円減少いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は540,243千円（前年同期比7.4%増）、営業利益は49,656千円（同12.5%減）となりました。

③ 給食事業

給食事業におきましては、新規受託施設の獲得及び既存受託施設への販売強化に注力しております。売上高は前年同期比で7,909千円の増収となり、材料費など売上原価の増加はありましたが、営業利益は3,602千円の増益となり、当第3四半期連結累計期間の売上高は305,304千円（前年同期比2.7%増）、営業利益は8,825千円（同69.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて140,582千円減少し、12,091,705千円となりました。これは、現金及び預金が236,994千円、前渡金が56,089千円、その他が91,987千円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が559,500千円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて58,911千円減少し、1,176,983千円となりました。これは、主に投資その他の資産が59,713千円減少したことによるものです。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ199,493千円減少し、13,268,689千円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて264,236千円減少し、6,753,725千円となりました。これは、主に契約負債が87,619千円増加したものの、未払法人税等が139,643千円、買掛金が112,897千円、賞与引当金が106,871千円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて46,260千円減少し、865,988千円となりました。これは、退職給付に係る負債が42,684千円減少したことなどによるものです。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ310,497千円減少し、7,619,713千円となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて111,003千円増加し、5,648,975千円となりました。これは、主に利益剰余金が97,145千円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年11月14日に公表いたしました2023年9月期の通期業績予想に変更はありません。

尚、業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,480,189	5,717,184
受取手形、売掛金及び契約資産	4,360,414	3,800,914
商品及び製品	21,911	55,657
原材料及び貯蔵品	2,342	2,188
前渡金	2,317,938	2,374,028
その他	50,230	142,218
貸倒引当金	△739	△486
流動資産合計	12,232,287	12,091,705
固定資産		
有形固定資産	362,644	362,405
無形固定資産	84,516	85,557
投資その他の資産	788,734	729,020
固定資産合計	1,235,895	1,176,983
資産合計	13,468,183	13,268,689

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,960,881	3,847,983
1年内償還予定の社債	92,500	83,750
未払法人税等	155,909	16,266
契約負債	2,306,527	2,394,147
賞与引当金	154,776	47,904
役員賞与引当金	26,500	12,600
その他	320,867	351,073
流動負債合計	7,017,962	6,753,725
固定負債		
退職給付に係る負債	386,944	344,259
役員退職慰労引当金	435,055	432,492
その他	90,248	89,235
固定負債合計	912,248	865,988
負債合計	7,930,211	7,619,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	539,369	539,369
資本剰余金	498,944	498,944
利益剰余金	4,242,579	4,339,725
自己株式	△166	△166
株主資本合計	5,280,727	5,377,873
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103,893	114,595
その他の包括利益累計額合計	103,893	114,595
非支配株主持分	153,351	156,506
純資産合計	5,537,971	5,648,975
負債純資産合計	13,468,183	13,268,689

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年6月30日)
売上高	25,195,466	16,674,201
売上原価	22,563,911	14,584,532
売上総利益	2,631,555	2,089,669
販売費及び一般管理費	1,745,363	1,752,259
営業利益	886,191	337,409
営業外収益		
受取利息	555	72
受取配当金	3,216	3,925
その他	55,403	5,256
営業外収益合計	59,175	9,254
営業外費用		
支払利息	852	707
支払保証料	463	380
シンジケートローン手数料	1,499	16,499
その他	1,783	741
営業外費用合計	4,600	18,328
経常利益	940,767	328,335
税金等調整前四半期純利益	940,767	328,335
法人税、住民税及び事業税	282,829	53,801
法人税等調整額	524	65,996
法人税等合計	283,353	119,798
四半期純利益	657,413	208,537
非支配株主に帰属する四半期純利益	31,422	13,355
親会社株主に帰属する四半期純利益	625,991	195,182

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	657,413	208,537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,182	10,702
その他の包括利益合計	△9,182	10,702
四半期包括利益	648,230	219,239
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	616,808	205,884
非支配株主に係る四半期包括利益	31,422	13,355

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。尚、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	メディカルト ータルソリュ ーション事業	遠隔画像診断 サービス事業	給食事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,394,936	503,135	297,394	25,195,466	—	25,195,466
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	24,394,936	503,135	297,394	25,195,466	—	25,195,466
セグメント利益	822,097	56,727	5,223	884,048	2,143	886,191

(注)1. セグメント利益の調整額2,143千円は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	メディカルト ータルソリュ ーション事業	遠隔画像診断 サービス事業	給食事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,828,654	540,243	305,304	16,674,201	—	16,674,201
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,828,654	540,243	305,304	16,674,201	—	16,674,201
セグメント利益	277,208	49,656	8,825	335,690	1,719	337,409

(注)1. セグメント利益の調整額1,719千円は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。